

# 出張報告

報告日 令和6年3月28日

会派名	柏崎の風
報告者氏名	星野正仁、春川敏浩、山本博文、柄沢均、阿部基、上森茜、近藤由香里、田邊優香、三嶋崇史
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
日時	令和6年3月27日（水） 15:30～16:30
場所 （会場）	東京電力ホールディングス株式会社（東京都千代田区内幸町 1-1-3）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を賛成多数で採択したことを報告し、安全性向上と信頼回復に向けた取組みの推進を要望した。</p> <p><b>【小早川 智明 代表執行役社長】</b> 立地地域において原子力発電所が存在することのメリットを実感していただくことが、共存共栄につながると考える。しかし、かねてから要望されている立地地域での発電事業（地元への電力供給）には課題が多い。まずは地域に根を張る企業であるために、令和8年の本社機能移転を機に、社員約300人がエネルギーホール跡地に建設予定の原子力・立地本部事務所に異動するとともに、田尻工業団地内に東京電力柏崎レジリエンスセンターの建設も決定した。 東日本エリアの電力需給はひっ迫し、安定的な電力供給のために早期に戦線に復帰したい。そのためにも安全性向上と地域振興に資する事業展開を進めていく。</p>
所感等	<p>柏崎刈羽原子力発電所の安全対策への理解促進、社員異動に伴う経済効果や地域貢献、地元雇用や社員の消費活動の奨励、ミスやトラブルの防止とマスコミ対応やPR方法等について、率直な意見交換を行った。</p> <p>東京電力HD（株）としても、柏崎・刈羽地域に根付き、地域経済の活性化、地元への貢献をさらに進めて共存共栄を図りたい、との意向を確認することができた。</p> <p>再稼働に向けた今後のプロセスには、より一層の細やかな配慮が求められる。国策を担う発電事業者として本来の役割を果たしていただけるよう、引き続き慎重かつ丁寧な対応をお願いしたい。</p>

